

参考指標

主な指標	令和5年度 (現状)	令和7年度 (目標)
専門人材の支援を受けて話合いに着手した地区・集落数	—	24 組織
話合いをサポートし、合意形成に導く専門人材の育成数	—	15 人

用語解説

用語	解説	掲載ページ
【あ行】		
ICT	情報通信技術のこと。Information and Communication Technology の略	26、32～34、36
アドバイザーボード	課題に対する助言や意見交換を行うことを目的に設置された顧問委員会	27、53
インフラ	特定の人のものではなく、全ての住民の生活を支える基盤として適切な維持、円滑な運営が求められるものの総称	4、26、45、46
【か行】		
外部不経済	市場でおこなわれている経済活動とは別の場所で何らかの不利益が発生し、個人や法人に悪影響を与えること	19
過疎法	過疎地域の各種対策のための特別措置法。人口の著しい減少に伴って地域社会における活力が低下し、生産機能及び生活環境の整備等が他の地域に比較して低位にある地域の自立促進を図り、住民福祉の向上、雇用の増大、地域格差の是正及び美しく風格ある国土の形成に寄与することを目的としている。	8
関係人口	移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々のこと	26、39、50
共助	住民と地域社会、行政の役割分担に関する考え方の一つで、自分だけでは解決や行うことが困難なことについて、地域が協力して行うこと(⇔自助、公助)	6、16、20、24、26、41
後期高齢化率	総人口に占める75歳以上の人の割合	13
耕作放棄地	所有されている農地のうち、過去1年以上作付けされておらず、この数年の間に再び作付けする考えのないもの	19
公助	住民と地域社会、行政の役割分担に関する考え方の一つで、個人や地域など、民間の力では解決できないことについて、行政(公的機関)が行ったり、支援すること(⇔自助、共助)	16、26、41
高齢化率	総人口に占める65歳以上の人の割合	4、8
高齢者サロン	地域の高齢者の方などが主体となって運営する集いの場で、運動や趣味など様々なレクリエーション活動を行う場所	13

用語	解説	掲載ページ
【さ行】		
里海	人が様々な海の恵みを得ながら生活するなど、人の暮らしと深い関わりを持ち、人手が加わることにより生物生産性と生物多様性が高くなった沿岸地域	2
里山	集落、農地、それらを取り巻く二次林、人口林、採草地、竹林、ため池などがモザイク状に組み合わさって形成され、人が適度に利用することで、豊かな自然が形成・維持されてきた地域。里地里山	2
自助	住民と地域社会、行政の役割分担に関する考え方の一つで、自分の責任で自分自身やその家族等により行うこと（⇔共助、公助）	6、16、20、34、36
実証実験	理論や仮説が正しいことを実際の現場を利用して証明すること	32、33、51
社会福祉協議会	社会福祉を目的とする事業の企画及び実施や、社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助等を行うことにより地域福祉の推進を図ることを目的とする団体	35～37
住民自治組織	一定の範囲に居住する人で組織、運営される地域づくり等を担う組織。集落、町内会・自治会などの小さな範囲を対象とするものから、市町の範囲を対象とするものまで様々な形態がある。なお、地域運営組織も広義の住民自治組織に分類される。	4、7、11、12、16、19、20、24、25、27、31、32、35、36、38～43、45、48～50、52
集落支援員	総務省の集落対策の制度であり、地方自治体からの委嘱により、市町村職員と連携し、集落への「目配り」として集落の巡回、状況把握等、集落の共同作業の手伝い、困りごと相談など幅広い分野で支援を行う人材のこと	4、35、38、49
セーフティネット	社会的弱者に対して、最低限度の生活が出来るようにする生活保護等の施策や仕組みの総称	20、26、36
【た行】		
他出子	親を集落に残し、転出した子ども	26、31、39
団塊の世代	昭和 22(1947)年から昭和 24(1949)年までの3年間にわたる、第一次ベビーブームに出生した世代	6
地域運営組織	地域の生活や暮らしを守るため、地域で暮らす人々が中心となって形成され、地域内の様々な関係主体が参加する協議組織が定めた地域経営の指針に基づき、地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する組織	7、33、35、40～43

用語	解説	掲載ページ
地域おこし協力隊	総務省の制度であり、都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を異動し、地域ブランドや地場製品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組のこと	38、49、50
地域食堂	子供や高齢者、生活困窮者など多様な世代や立場の人を対象に安価な食事を提供する食堂。地域の人が集い、つながる居場所としての役割を担う。	13
地域づくり人材プラットフォーム	平成28年12月に設立した、中山間地域の活動実践者が集う人材バンク、「ひろしま里山・チーム500」	50、51
地域農業経営基盤強化促進計画	農業経営基盤強化促進法の改正法第19条に基づき市町が策定する、地域の農用地の利用集積及び集団化の目標等を定めた計画で、農業を担う者ごとに利用する農用地等を定めた目標地図を併せて作成する。略して「地域計画」という。	47
中間支援人材	地域住民による話し合いを、地域から付かず離れずの立場から中立的にサポートし、合意形成に導いていく、専門的な知見を有する人材	40、43、48、49
デマンド交通	予約型の運行形態の乗合輸送サービス。利用者に応じて運行する時刻や経路が変わる。	31、43
【な行】		
日本型直接支払	農業・農村の多面的機能の維持・発揮を図るため、地域の共同活動、中山間地域等における農業生産活動、自然環境の保全に資する農業生産活動を支援する国の制度	45
農業集落	市区町村の区域の一部において、農業上形成されている地域社会のことをいう。農業集落は、もともと自然発生的な地域社会であって、家と家とが地縁的、血縁的に結びつき、各種の集団や社会関係を形成してきた社会生活の基礎的な単位である。 国が5年ごとに調査実施している農林業センサスによると、2020年広島県の農業集落数は5,210集落	4、7、9
農村型地域運営組織	複数の集落の機能を補完して、農用地保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、生活支援等地域コミュニティの維持に資する取組を行う組織	42

用語	解説	掲載ページ
【は行】		
伴走型支援	課題を抱える地域や団体等を対象に地域づくりに精通した専門家を派遣し、一定期間、地域活動に対する様々な助言を提供すること	25
PDCAサイクル	計画(Plan)-実施(Do)-評価(Check)-改善(Action)の取組を循環させる施策の経営管理の手法	53
ファシリテーター	協議等の場において、中立な立場を守りつつ、参加者の心の動きや状況を見ながら進行していく人	27
へき地	都会から遠く離れた土地で、人口が少なく、医療機関や医師が不足する地域のこと	34
【ま行】		
未病	自覚症状はないが検査では異常がある状態や、検査を受けても異常が見つからず病気と診断されないが、健康ともいえない状態	33
民生委員	民生委員法に基づき厚生労働大臣から委嘱される民間の奉仕者。社会福祉増進のため、地域住民の生活状況の把握や、援助を必要とする人が福祉サービスを適切に利用できるよう必要な情報提供、関係機関への連絡などの支援を行う。	35、36
【や行】		
Uターン	大都市の居住者が地方に移住する動きの一形態 <ul style="list-style-type: none"> ・ Uターン: 生まれ育った地からどこか別の地へ移り住み、その後また元の地へ戻り住むこと ・ Iターン: 生まれ育った地からどこか別の地へ移り住むこと ・ Jターン: 生まれ育った地からどこか別の地に移り住み、その後生まれ育った地の近くに戻り住むこと 	48
【ら行】		
リソース	資源のこと	30、42
リテラシー	特定の分野に関する知識や活用する能力のこと	34